

盟政会

幸田 安司議員



公明党

松岡 信生議員



公明党

平野 菅子議員



公明党

大西 雅子議員



公共交通

公共交通のない地域の交通手段をどう考えるか

議員 市内には交通不便地域が点在しており、特に三輪東部地区は高齢化が進んでいるが、以前から公共交通がない。駅等までの距離は三田市の「新たな市民生活交通導入指針」で示す交通不便地域の条件よりかなり遠い距離だが、今後このような地域に対しどう考えるか。

市 自助・共助・公助を組み合わせた対応が必要

農村地域等でのバス路線の新設は、運転手不足などの課題があり困難だが、今後は自助、共助、公助を組み合わせた対応が必要。「おでかけサポート事業」などの地域と連携した移動手段を考えていく。(椋田技監)

他の質問 ●ドライブレコーダーの設置状況について

新政みらい

多宮 健二議員



環境

野焼き問題を問う

議員 野焼き問題に対し、環境省と兵庫県、そして三田市オンブズパーソン共に見解が同じである。市も考え方を「個別具体的事情の下、法目的に照らして判断していく」と変えるべきでは。

市 野焼きは個別具体的に判断する

昨年9月定例市議会での答弁が基本的考え方が、あらゆる農業者の野焼きが適法なものではなく、焼却方法、時間帯や場所などに「相当性や合理性」が必要。相当な焼却かは、個別具体的に判断されることは当然のことである。(森市長)

他の質問 ●内部統制と人材育成について

説明

\* S S W : スクールソーシャルワーカーのことであり、社会福祉等の専門的な知識や技術を有する社会福祉士、精神保健福祉士のこと。
\* S C : スクールカウンセラーのことであり、教育機関において心理相談業務に従事する専門家のこと。

公共施設

公共施設マネジメント推進の基本姿勢について

議員 昨年10月に策定された基本方針(案)において、「廃止・売却」方針施設を地域が活用する場合に「地域イニシアチブ制度」創設が謳われているが経費負担には触れられていない。この制度の定義と利用に際しての条件は。

市 経費は基本的には提案者負担、一定条件のもと支援も検討

この制度は、廃止となった公共施設等を地域の課題解決等のため地域団体に活用を提案していただく制度である。現在、市内で維持管理経費の負担等について検討をしている。経費については、基本的には提案者負担と考えるが、一定条件のもと支援も考えていく。(森市長)

他の質問 ●学校のICT環境整備の取り組みについて ●小型家電回収の取り組みについて ●災害時の対策強化について

説明

\*イニシアチブ：先導すること。主導権。

新政みらい

佐貫 尚子議員



子育て

発達障害児の育児相談体制の充実を

議員 発達障害児の保護者が育児で悩んだ時、相談窓口体制はあるのか。

S S W、S Cの配置がされているが、相談したい時に相談ができない状況であるが市の考えは。

市 相談体制の充実を図る

学校では担任、養護教諭も対応し教育委員会では定期的な相談会や電話相談を行い、ひまわり特別支援学校や療育センター、市の障害福祉課においても相談の対応を行っている。

S Cについては、近隣校から応援派遣するなど適切な時期に相談ができるよう努める。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●教員の働き方改革による部活動指導員導入の進め方について ●三田本町通りセンター街周辺のまちづくりについて ●独居高齢者の終活支援について

交通

交通不便地域での地域主体の有償運送の考えは

議員 市内の交通事情は様々で、バス路線はあっても便数が極端に少ない地域等は、今後、地域力を活かした取り組みが必要となる。

篠山市では市が事業主となり地域が運転手等の手配や計画を立てて運営する有償運送を実施している。三田市での有償運送導入の考えは。

市 有償運送の実現を視野に入れた地域の支援を実施していく

公共交通サービスは地域格差があり、高齢者等の暮らしに寄り添う交通のあり方には課題がある。地域力を活用した有償運送も有効な必要手段の一つである。今年度は地域の有償運送実現を視野に入れた新たな組織づくりへの支援を実施する。(椋田技監)

他の質問 ●チャッピーサポートセンターの機能・体制の充実について ●地域担当課長をサポートする「地域担当サポート職員」のあり方について ●再生可能エネルギーの推進における三田市の影響について

健康

健康寿命を延ばすフレイル(虚弱)予防対策を

議員 加齢と共に低下する運動機能や認知機能を高めるフレイル予防の取り組みが重要である。他市ではフレイルチェックシートや指輪っかテスト等を行い、フレイル状態を市民に気付いてもらえるよう取り組まれている。三田市でもフレイル予防の取り組みを広めることが大事であると考えているが市の見解は。

市 フレイル予防にも重点を置いていく

心身の状況を確認するチェックシートは、いきいき百歳体操等一部の事業で活用している。今後はより多くの機会を活用していく。またフレイル予防に必要な知識や実践方法を学ぶ機会を提供していく。(森市長)

他の質問 ●ひきこもり支援について ●地域防災活動について

説明

\*フレイル：加齢とともに運動機能や認知機能などが低下した状態

